

さこーちゃん通信

【2020年2月】
第3号



今月のごあいさつ

こんにちは！前月号で「正月太り、していませんか？」と皆さんに言うておきながら3kgも太ってしまった佐光英貴です！25年間ずっと体重が変わらなかったのが、実はこの3年間で10kgも太ってしまいました。今年は食事管理、運動やります笑！

2月といえば、さっぽろ雪まつりが開催されます。1950年に地元の大学生が6つの雪像を大通公園に設置したことがきっかけに始まったようで、今年で71回目の開催になります。今年は記録的な小雪ですが、無事開催され盛り上がるといいですね。

◆◆◆期待を裏切ること??◆◆◆



皆さん、お正月はいかがお過ごしされたでしょうか。我が家は自宅でのんびりテレビを観て過ごしていました。普段テレビはあまり観ないのですが、たまに観るといいですね～。

特に、年末のダウンタウンの「絶対に笑ってはいけない～」がめちゃくちゃ面白かったです。20年振りに涙が止まらなくなるほど笑ってしまいました～。どの部分に笑ったかというと・・・

女優の天海祐希さんが半分怒りながら、ココリコ遠藤さんに、「あなたがいつもやってる奇声を上げて大声で踊るやつ、ここでやって！」と命令。

踊らせるだけ踊らせて「それが何面白いの？」と一蹴。続けて「それを森進一風でやって！」とさらに命令。

文章にすると全く伝わりませんが、どうして自分がこんなに笑ってしまったのかを思わず考えてみました。

やっぱりこれって、【想定外】＝【期待を裏切ること】が鮮やかだったからだと思います。

「奇声を上げて大声で踊るやつ、ここでやって！」と命令し、ココリコ遠藤さんがそれをやったとき、次に天海さんはどう突っ込むか？

これが期待通りだと、笑いは生まれませんよね。

お笑い番組でもドラマでも映画でも、自分が想像もしない展開になると、面白かったり、感動したりするものですよね。

私は仕事においても同じだと思っています。（良い意味で）お客様の期待を裏切ることができる情報や手法を

まつもと～、アウト～!!



提供できればと思っています。私にお笑いセンスは全くないですが、金融情報のセンスは磨いていきますので、引き続き宜しくお願いします～笑。

「さこーちゃん通信」は佐光に関わりのある方や、ご縁のあった方に不定期で送付しております！手渡しで受け取った方で、「定期購読希望！」という方は、お気軽に連絡をくださいね。



ライン登録
大歓迎です！

佐光 英貴 さこう ひでたか

携帯電話 090-2876-2283

メールアドレス hidesako7447@gmail.com

LINE ID hidesako7447

住所 〒007-0846
札幌市東区北46条東15丁目1-24



ライン登録用

♥♥♥野球好き♥♥♥ 今回のテーマ「高校野球は親が9割」

野球をこよなく愛するさこーちゃんが、野球をテーマに好き勝手に書くコーナーです。賛否両論あると思いますが、野球を愛する気持ちをお汲み取りくださいませ(◡◡)/

今回のテーマは「**高校野球は親が9割**」です。「???'と感ずる方も多いと思いますが、野球(野球に限らずスポーツ)をされているお子さんがいるお父さん、お母さんには是非考えていただきたいテーマです。

私の息子は今春、高校生になります。もちろん野球を続け甲子園を目指すことになると思います。ちょうど2年前、そろそろ息子の高校進学について検討しなければと思っていた時、「**高校野球は親が9割**」(著:田尻賢誉)という本に出会いました。本のタイトルを見て、まず衝撃を受けました。「**高校野球をやるのは子供でしょ?**」「**どうして親が9割?**」と。これって、前項の「**期待を裏切ること**」ですよ。ね。「**息子の高校選びをどうしたらいいのかな?**」「**息子にとって良い野球環境とは?**」とイメージして考えていた私に、「**高校野球は親が9割**」と「**息子ではなく親です**」と突き付けてくるタイトル。まさに「**想定外**」でした。もちろん読まずにはいられなくなり、すぐに読み切りましたね。

「**親が9割**」。著者は何が言いたいかというと、例えば、高校生の字を書く時の姿勢のおかしさに驚くことが多いのです。腰を90度に折り曲げ、顔を机にくっつけるようにして書く。斜めにのぞき込むようにして書く子もいる。その時点でその子は勉強ができないことがわかる。なぜなら、そんな苦しい姿勢のままでは30分も持たないから。この机に向かう姿勢を子供が幼少期の頃から親が注意していれば、正しい姿勢で机に向かっているでしょう。高校生になってから注意されても、これまで身についた習慣は簡単に直せない。

たった1秒でできることすらやらない、やろうとしない人は絶対に伸びません。ですが、それはその子が悪いわけではありません。たった1秒で直せることを放置してきた親が悪い。親が繰り返し注意すれば、必ず直すことができる。それすらもやらないほど親に根気がないのだから、子供に根気があるはずがない。できないのは子供のせいではなく、親のせいだ。



中学3年生まで楽な方に流れる習慣のついた子供が、高校生になって野球部に入ったからといって、新しいやり方に取り組もうとするだろうか。根気良くチャレンジするだろうか。だから「**高校野球は親が9割**」なのだ。たった1秒で直せることすらそのままにしてきたのは親の責任。そんな子供はどんな優れた指導者に預けても、変わることは難しい。下地ができていないから。

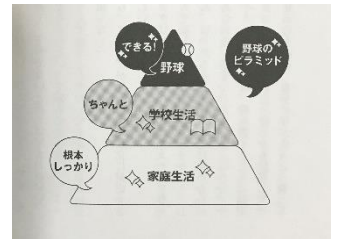
なのに、高校野球の現場の実態は、これまでの子供の育て方を棚に上げ、高校や指導者を批判したり、自分の子だけ良くなればいと自分勝手な行動をする親が蔓延しているというのです。

「うーん」「そうそう」「ですよね~」「あつ、これは気をつけないと」の連続でこの本を読み終えた私でした。

また、特に印象に残ったのは、佐賀北高校の百崎敏克監督の「**野球のピラミッド**」の話です。因みに、佐賀北高校は無名の公立高校ながら2007年の夏の甲子園で全国制覇。「**がばい旋風**」を巻き起こしました。

百崎監督がいう「**野球のピラミッド**」とは次の通りです。

「**高校生である以上、家庭生活が基礎にあって、その上に学校生活があって、一番上に野球がある。家庭生活がしっかりしていなければ、野球も何も無いわけです。**



いくらこつちがきれいなことを言っても、親が親として責任を持ってちゃんとしていなければ、ぐらついてしまう。それができなければ野球をする資格はないと思っています。家では子供を支える。精神的に支えたり、見守ったり、そういう親であってほしいですよ。レギュラーになるならない、甲子園に出る出ないなんて、ちっぽけなことですよ。」

最後に、著者はこう言っています。

「**親は保護者ではありません。教育者です。高校の指導者とともに子供を育てる“共育者”です。親が気づき、学び、成長するからこそ、子供も成長します。親の意識が変われば、子供にける言葉が変わります。子供の意識が変われば、行動が変わります。そして、子供の行動が変われば・・・未来が変わるのです。」**

子供を持つ親として、大変考えさせられる本との出会いになりました。何か問題が起こると、他人に責任転嫁する大人にはなりたくないと思改めて感じたとともに、まさに「**子供は親の鏡**」であると思いました。

◆◆◆友人のお仕事紹介◆◆◆

さこーちゃんのまわりで活躍している方を紹介するコーナーです。

今回は札幌市豊平区にある「Audi 月寒」の村上公一さんに話を伺ってきました。村上さんは息子の野球チームで父母役員になったことをきっかけに仲良くしていただいています。私の車の担当者でもあります。

【佐光】こんにちは！どうやって今の仕事に就いたのですか？

【村上さん】大学卒業後、国産自動車販売店に就職しましたが1年半で退職。バイトをしながら公務員を目指して勉強しましたが、途中で挫折しました笑。そして、この会社に入社し、現在24年目ですね～。

【佐光】へえ～、そうだったんですね。この仕事の一番のやりがいは何ですか？

【村上さん】お客様の「買い物」に触れ合うことができることですかね～。買い物の判断の仕方、家庭や仕事への思い、人生観などについて知ることができる、体験することができる場所ですね。

【佐光】なるほど～。そうですね。私も全く同じです。お客様の人生観を感じることができると楽しいですし、自分にとっての糧にもなりますよね。では、村上さんと競合相手との一番の違いは何ですか？

【村上さん】私もそうですが、このお店は「お客様第一主義」が徹底されていると思っています。こちらの都合で話をしないことです。工場スタッフも「お客様第一」でメンテナンスなどの対応をするので、私も助かっています。



---村上さんの人柄にいつも助けられています---

【佐光】この仕事を24年続けてきた中で、環境の激変はありましたか？

【村上さん】2001年頃、「飛び込み営業」を止めたことでしょうか。誰かが号令するのではなく、自然発生的に止めましたね。その時、社員想いの会社だなあ～と実感できました笑。

【佐光】そうですね。社員に優しい会社であると同時に、まさに「お客様第一主義」ですよ。飛び込み営業なんて迷惑以外の何物でもないですよ。お互い嫌な思いをするだけです。では、最後に読者のみなさんにひとこと。

【村上さん】ご興味のある方はお気軽にお立ち寄りください。皆さんがワクワクし、笑顔になり、楽しくお帰りになる姿を見れると、私も嬉しいです。ありがとうございました。

【佐光】こちらこそ、ありがとうございました！



---お茶目な村上さん---

Audi 月寒

- ◆電話 011-851-3154
- ◆営業時間 10:00～18:00
- ◆住所 札幌市豊平区月寒東1条16丁目1-1
※国道36号線沿い、札幌ドーム前
- ◆定休日 月曜日



◆◆◆今月の1冊◆◆◆



読書好きのさこーちゃんがおススメする本を紹介するコーナーです。

今回の本は、齋藤孝著「本当の『頭のよさ』ってなんだろう？」です。齋藤孝先生（明治大学文学部教授）はご存知の方も多いでしょう。「声に出して読みたい日本語」シリーズや「齋藤孝のイッキに読める！音読名作選」など小学生向けの本も多数出版されています。日本語のプロですから、大変読みやすい本が多いですね。

今回ご紹介する本は、昨年10月、私の息子に読ませるために買いました。多くの小・中学校では朝の読書タイムがあると思います。その際に読む本を定期的に私が買っています。本来は、息子と一緒に書店に行き、息子が気に入った本を買うというのが私にとっては理想なのですが、「面倒くさい。パパが選んできて。」と言われてしまいます(;▽;)。

という経緯で購入した本ですが、表紙を見た瞬間、「これだ！」と即決で選びました。当時、息子は高校の推薦入学が決まり、さっぱり勉強に身が入らなくなっていました。「どうやって勉強をさせようか」「親がガミガミ勉強しなさいと言ってもな～」と思っていたからです。

ぜんぜん本の紹介になっていません笑が、小学5年生～高校生のお子さんがいる方は、ぜひ読ませてあげて欲しいと思います。以前から私は息子に「勉強するということは、人生の選択肢を広げること」と言ってきましたが、この本はまさにそれを教えてくれます。決して今の人生を後悔しているわけではありませんが、もっと勉強していれば、私の人生も変わっていただろうなと思うことがあります。

勉強する意味が大変わかりやすく書かれていますよ～。

◆◆◆おわりに◆◆◆

「さこーちゃん通信第3号」いかがでしたか。皆さんからの温かい言葉、励ましの言葉をいただき、まずは3ヶ月続けることができました。

先日、AさんからこのようなLINEをいただきました。「妻と楽しく見えています。なかなか佐光さんと会う機会は多くありませんが、さこーちゃん通信を読むと、不思議と佐光さんが身近に感じられてホッポリと嬉しい気持ちになります。大変だと思いますが、これからも私たち夫婦二人は楽しみにしていますので、よろしくお願いします。」

Aさん、本当にありがとうございます。嬉しくて、嬉しくて涙が出ました（最近、涙腺が弱いです笑）。

お陰様で約200世帯のお客様とお付き合いがありますが、もっともっと多くの方々に貢献できればと思っています。そうした中、皆さんお一人お一人と直接お会いできる機会は限られてきますが、この場で交流させていただければと思っています。もちろん何かございましたら、いつでもお気軽に電話、LINE、メールくださいね。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



感謝を込めて
さこーちゃん通信
読んでくださり
ありがとうございます

佐光 英貴 さこう ひでたか

携帯電話 090-2876-2283

メールアドレス hidesako7447@gmail.com

LINE ID hidesako7447

住所 〒007-0846
札幌市東区北46条東15丁目1-24



ライン登録用

※送付不要の場合はご連絡いただければ、直ちに停止いたします。